



市制施行50周年記念事業

放浪の天才画家

# 山下清展

緻密で色鮮やかな貼絵による独特の世界を確立し、「日本のゴッホ」とも呼ばれた山下清。少年時代に千葉県の実業施設で貼絵と出会い、その才能をたちまち開花させますが、18歳の時に突然施設から姿を消し、放浪の旅へ。

昭和15(1940)年から昭和29(1954)年まで断続的に日本全国を放浪しました。各地を放浪した山下清は、放浪中に見聞した風物を帰宅後に作品として残しました。

テレビや映画などでは「放浪の途中で作品を創作した」と伝えられていますが、実際は行く先々で眺めた風景をありのまま記憶し、帰って来てから地道で繊細な作業の貼絵で寸分違わず再現したといえます。



《アトリエにて》



《ロンドンのタワーブリッジ》貼絵 1965年

- 大正11(1922)年 3月10日、東京市浅草区田中町に生まれる。
- 昭和3(1928)年 浅草の石浜小学校に入学。
- 昭和9(1934)年 千葉県の養護施設「八幡学園」に入園。
- 昭和15(1940)年 11月18日、突然、放浪の旅に出る。
- 昭和17(1942)年 弥生軒で働く※昭和22(1947)年まで。
- 昭和29(1954)年 鹿児島にて放浪生活を終える。
- 昭和36(1961)年 ヨーロッパ9カ国を旅行。
- 昭和46(1971)年 7月12日、他界(49歳)



《ともだち》貼絵 1938年

## 展示総数約140点！代表作を一堂に展示！

「芸術家・山下清」として、『長岡の花火』『桜島』などの代表的な貼絵や、ペン画『手賀沼』など約140点の作品に加え、弥生軒の方から聞いた山下清のエピソードや資料などを展示します。

また、山下清の甥である山下浩さんに「家族だけが知る山下清」をお話ししていただき、「人間・山下清」の真の姿に迫ります。



《トンネルのある風景》ペン画 1956年



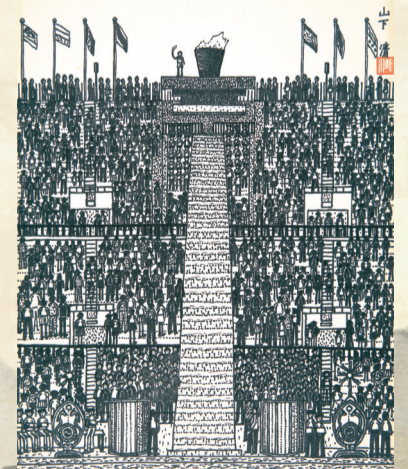
《桜島》貼絵 1954年



《手賀沼》ペン画 制作年不詳 個人蔵

### 特別公開～我孫子ブース～

お世話になった弥生軒のために描いた作品(弁当の包装紙の原画)など、普段見ることができない作品も公開します。



《東京オリンピック》ペン画 1964年

期間 11月21日(出)～12月20日(日) 場所 生涯学習センターアビスタ